



しゃとう 不来方

No. 246

2011年
7-8月号

発行 / 盛岡不来方ライオンズクラブ 盛岡市大沢川原一丁目10-25 川徳事務館1F TEL (624) 2199

332 複合アクティビティスローガン
332-B地区アクティビティスローガン

東北は一つ 今こそ郷土への We Serve
友愛と感動のウィサーク



深沢紅子野の花美術館は盛岡市紺屋町の中津川沿いに建つ小さな美術館です。野の花と野の花のような女性を描いた深沢紅子の絵画作品を展示顕彰する瀟洒な美術館は、前を流れる中津川とよく調和しています。

「画業の軌跡」

紅子は明治三六年の生まれで、女子美術学校に進学したのは大正八年、十六歳の時です。しかし当時は、女性の社会参加が難しく、特に女性の絵描きは道を外れた道楽者と見られ、屈辱感に襲われることの多い生

口ゲストスピーカー
深沢紅子野の花美術館
館長 石田 紘子 様
「盛岡に咲く野の花美術館」
L 斎藤 夫夫
シヨン・レディ委員会

場所 ロイヤルルーム
司会 環境保全・レクリエー

第一一六三回例会
5月25日

わすれな草の咲く春、川遊びで賑わう夏、サケが溯上する秋、白鳥が憩う冬、四季折々の美しい光景は居ながらにして見られます。

この中津川にほど近い内丸で誕生して紅子の日常の中には、いつも中津川があり、故郷を愛する心や美的情緒を育む源となりました。紅子絵画の鑑賞に最も相応しい地が、美術館建設地に選ばれました。

平成二年の始まつた全国の紅子ファンによる熱心な建設運動は、岩手県と盛岡市の援助も得て実を結び、平成八年九月に社団法人で公益美術館として建設開館しました。

その後、昭和二十二年の岩手美術研究所創設に加わり、翌年の県立美術工芸学校誕生、これを母胎とした三男後の県立盛岡短期大学美術工芸科誕生においても惜しみなく力を注ぎ、いわての美術教育の基礎づくりに貢献しました。なお、同校は昭和三十年に岩手大学特設美術科として結実しました。

この間深沢夫妻の指導を受けた人たちが現在県内外で画家・指導者として活躍し、さらに多くの後進を育てています。

画業六十年展を開催しようとしていた昭和五十四年、67歳

の時には類焼によりアトリエが全焼し、五百点余の作品消失の不幸に遭いました。しかし、紅子は周囲が驚くほど明るく切り抜け、新たな気概で一層励み、また絵も集め、予定通り展覧会を開催しました。

平成五年、九十歳で亡くなるまで画業人生を貫き通しました。

「紅子作品の魅力」

野の花美術館の来館者の多くは県外です。北海道から四国・九州まで広く根強いファンを持つ紅子です。深沢紅子野の花美術館は軽井沢にもあり、来館者から話題に上がる事が良くあります。

紅子の絵の素晴らしいところは、「やさしさ」「気品」にあると言われています。鑑賞後は、「心が清らかになりました」「心が癒されました」という感想が一様に語られます。

実際、人物を描くとき、紅子はプロのモデルを使わずに気心まで分かっている人たちを描き

ました。その人の美しさ・やさしさを愛情込めて描きました。

また、紅子は色彩の画家とも言われ、紅子ほど色を知つている画家はいないと評論されています。やわらかな色彩と、色彩の配置のやさしさは、一層の気品と美しさになって魅了します。

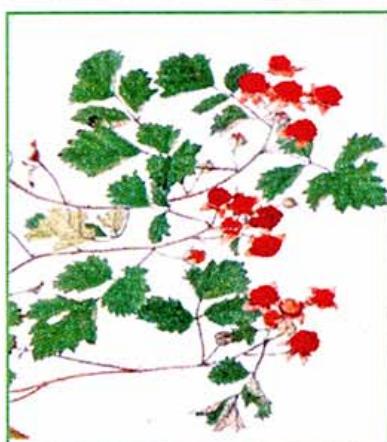
色彩の美しさは、日本における色彩の標準化の必要性を感じた洋画家和田三造の日本標準色協会創立に加わり、おびただしい色の中から標準色を船体する作業に二年間専念したことが影響していると言られています。

野の花の水彩画では、紅子独

自の、生き生きとした線の美しさにも定評があります。

子どもの頃から日本画を習い女子美術学校でも最初は日本画を専攻した紅子であり、その基本が一筆の線に表れているのです。

しかし絵の美しさは筆舌し難く、お一人お一人の感性で直接原画をご覧いただくことが一番です。



盛岡に咲く野の花美術館

野の花美術館は公立の美術館ではありませんが、15年目の今年も開館しています。

それは、紅子の絵を理解し美術館を応援して下さる方たちのお支えがあるからなのです。特に盛岡には、惜しまず地域貢献をしてくださる素晴らしい市民・企業人がたくさんいらっしゃいます。

□委員会報告

◎計画出席大会委員会
委員長：黒沢雄幸

・岩泉龍泉洞L.C認証状

伝達式

日時 6月19日（日）
11：00

場所 岩泉町民会館・ホテル龍泉洞愛山
・環境保全・レクリエーション・レディ委員会

◎環境保全・レクリエーション・レディ委員会
委員長：白沢幸一

・第10回盛岡不來方L.C主催植樹会の報告
場所 盛岡高松の公園内
出席者：高橋重幸、照井金悦、平野嘉男、山崎清基、斎藤誠、小畠基弘、中村均、長岡秀

征、白沢幸一、事務局員杉沢

□332-B地区第57回年次大会 アワードの授与（個人）

☆2009～2010年度第一副地区
ガバナー優秀賞……相原文忠
☆国際会長感謝状……久慈次男
☆ガバナーアワード・個人賞：

・長岡秀征
・岩泉龍泉洞L.C認証状
・長岡秀征



5月誕生日おめでとうございます

L佐藤昌彦(5/7) L星憲治

(5/9) L奥山健司(5/1)

9) L大野泰一(5/20) L

樋口一男(5/22) L山田一夫

(5/23) L照井金悦(5/

24) 5月結婚記念日おめでとうございます

L照井金悦(5/7) L佐藤昌彦

(5/26)

5月誕生日おめでとうございます

L照井金悦(5/7) L佐藤昌彦

(5/26)

□幹事報告

・ガバナーおよび年次大会委員長から第57回年次大会終了のお礼と挨拶。

・4月28日(木)仙台市内で第3回ガバナー協議会及び332複合連絡会議が開催され、L相原文忠が出席。

・5月2日(月)京都洛北LCの友好クラブ・東京目黒LCから東日本大震災義援金10万円が届きました。

・5月10日(火)京都洛北LCの会長坂田Lが来盛し、東日本大震災義援金100万円を3

32B地区・相原ガバナーへご寄付下さいました。

・5月12日(木)15:00

川徳・餐にて第2回災害対策

会議が開催され、L平野嘉男、

L長岡秀征、L斎藤誠、L小苅

米基弘、L佐藤昌彦、事務局員

杉沢が出席。

・5月13日(金)16:00

川徳・餐にてライオンいわて

編集会議。L相原文忠、L吉田

浩次、事務局員杉沢が出席。

・5月23日(月)11:00

北上市市民交流プラザにて次

期YE準備会議。L吉田亮出席。

14:00~次期キヤビネット

準備会議。L相原文忠、L吉田

亮出席。

・5月24日(火)盛岡観武L

C例会にL相原文忠、L平野嘉

男出席。

第一一六四回例会 チャーターナイト例会 6月8日

場所 ロイヤルルーム
司会 幹事 L小苅米基弘
◎会長 L斎藤誠

・新旧役員激励慰労ゴルフ大会
について

日時 7月24日(日)8:

45スタート
場所 安比高原G.C.
参加費 3,000円
料金 10,500円(乗
用カート・セルフプレー)

・東日本大震災義援金について



京都洛北LC坂田会長と懇談5/10 JUENにて

